

各 位

上場会社名	タカセ株式会社
代表者	代表取締役社長 大宮司 典夫
(コード番号)	9087)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長兼国際業務総括部担当 島津 和人
(TEL)	03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年5月14日に公表した平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,300	70	80	50	4.98
今回修正予想(B)	4,480	△45	△35	△80	△7.97
増減額(B-A)	180	△115	△115	△130	
増減率(%)	4.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	4,354	109	107	61	6.07

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	228	240	130	12.94
今回修正予想(B)	9,000	15	25	△45	△4.48
増減額(B-A)	—	△213	△215	△175	
増減率(%)	—	△93.4	△89.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	8,861	217	215	115	11.42

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	26	65	50	4.98
今回修正予想(B)	3,970	△70	△25	△60	△5.98
増減額(B-A)	170	△96	△90	△110	
増減率(%)	4.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,941	82	93	56	5.54

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	140	180	100	9.95
今回修正予想(B)	8,000	△35	15	△45	△4.48
増減額(B-A)	—	△175	△165	△145	
増減率(%)	—	—	△91.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	7,936	156	168	89	8.86

修正の理由

個別の当第2四半期累計期間の営業収益につきましては、国内物流業務において主要顧客との業務取扱が6月で終了したことや業務委託料の大幅な見直しを行ったことによるマイナス面を補って、航空輸入等の輸入関連業務取扱増加や配送分野での物量が増加したことによって、平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信」の期初公表値に対し、1億70百万円増(4.5%増)の39億70百万円となる見込であります。

営業利益および経常利益につきましては、取扱物量に見合った倉庫保管スペースや労務費の効率化など経費削減に注力しましたが、新規取込業務の立上げや物流拠点移動に想定以上のコストを発生させてしまったこと、利用運送業務において運賃の仕入れコストの増大や、国内物流事業の営業収益減少にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、期初公表値に対して、営業利益は96百万円減の70百万円の営業損失、経常利益は90百万円減の25百万円の経常損失の見込であります。

さらに、四半期純利益につきましては、平成25年11月8日公表の「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、固定資産にかかる減損損失51百万円を特別損失に計上することを余儀なくされたことから、期初公表値に対して、1億10百万円減の60百万円の四半期純損失となる見込であります。

連結の当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、主に、個別の当第2四半期累計期間の業績予想の修正要因により、上記のとおり修正いたします。

また、通期の業績予想(個別・連結)につきましては、主に個別の当第2四半期累計期間の業績見込みを考慮するほか、下期の事業環境についても、上半期と同様の厳しい状況が見込まれ、特に、利益面については、価格競争による期待利益の確保が厳しくなっていることから、上記のとおり修正いたします。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上